



こうしょう

本当は怖い！？動物咬傷

2階西病棟 看護師



動物咬傷とは？



動物に噛まれたときにできる傷であり、
外傷の一つです。

大したことはないから・・・と噛まれた傷を
放置しておく大変なことになります。



動物に噛まれたときには、まずこれ！

①傷口をよく洗う！

②止血する！

③病院へ行く！

①傷口をよく洗う！

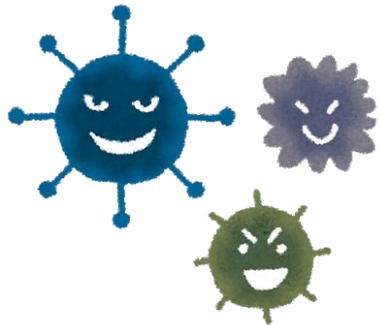


噛まれたところの傷口をすぐに
きれいな水でよく洗い流します。



→家庭犬でも犬の口の中には
細菌が沢山います。

感染症をおこさせる菌もいます。



傷口をふさいでしまうもの
(液体ばんそうこうなど)は
避けてください。



→細菌が残ったまま傷口をふさぐと
中で菌が増殖し、悪化することがあります。

清潔なタオルやガーゼなどを
使用しましょう。



②止血する！



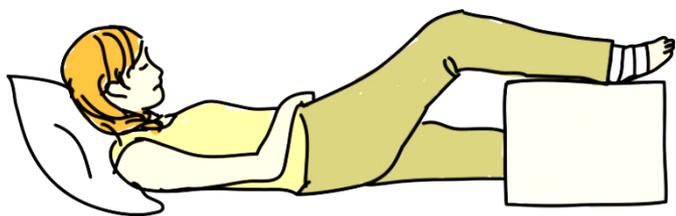
清潔なタオルやガーゼで
傷口を圧迫して止血します。



止血時は血の止まりが悪くならないように
頻回に傷口を確認しないで下さい。

出血が多い場合は、かなりきつめに
傷口を圧迫して、

手足などは心臓よりも高く上げます。



止血しようもないほどの重症の場合は

躊躇せずに救急車を呼びましょう。



③病院に行く！



動物に噛まれた際に、
感染症になる場合が多いです。

破傷風や狂犬病、骨髄炎、蜂窩織炎など、
その時は大丈夫でも
後々に重篤な症状が出るので
検査を受けるようにして下さい。



病院に行き、

噛まれたことや

噛まれた状況などを説明し
適切な処置をしてもらいましょう。



犬や猫に噛まれた方の原因



- 自分/他人の飼い犬・猫と遊んでいて噛まれた、引っかかれた。
 - 散歩中に他の犬に自分の犬が噛まれそうになり、犬を庇って自分が噛まれた。
 - 野良猫とケンカして引っかかれた。
- ◆その他にもマムシ、馬、ハムスター、人など様々な動物に噛まれる方もいます。

もし、入院となったら・・・

- 患部の安静が必要です。
- 創部は毎日洗淨をし、処置をします。
- 抗生剤の点滴をします。
- 処置では壊死した組織などあれば除去もします。
- 手術適応になる場合もあります。

本人の状態、
先生の指示によっては
内容も変わります。





- リハビリをして安静にしていた
手や足を動かします。
- 採血やレントゲンなどの検査をして、
創部の炎症反応や状態確認をします。



- 破傷風予防の注射をします。
（受傷後、4～6週間後、6～8カ月後
その後は10年おきに1回）





最後に皆様へ



動物咬傷は重篤な症状がでたり、
最悪の場合、
命の危機につながる事があります。

今回の初期処置を参考に、
速やかに病院受診をして下さい。